

2014 年度 立命館学校教育研究会 『若手教員の会』 の報告

この暑さの中で、教員を目指す学生たちは、二次試験に向けて自主的に勉強会を開催しています。

例年、夏期に、立命館学校教育研究会若手教員の会を開催してきましたが、本年度は、若手教員の会を、この勉強会に合わせて開催し、若手教員らが、サポーターとして採用試験を目指す学生たちへ助言を行うという、新しい試みを企画しました。学生たちの勉強会は、衣笠キャンパス、びわこくさつキャンパスともに実施されていますが、本年度は、8月9日(土)に実施される衣笠キャンパスでの勉強会に合わせて、若手教員の会を開催いたしました。勉強会の終了後には、茶話会を開催し、若手教員同士で、また現役学生との間で懇親を深めることができました。

当日は、台風の接近に伴う悪天候の中でしたが、20名を超える卒業生会員が、現役学生の勉強会にご参加いただき、学校種、教科、地域等に分かれたグループで熱心にアドバイスしてくださいました。

茶話会では、森田事務局長から若手教員の会設立の経緯が紹介され、井上副会長からこの数年間の若手教員の会の開催の経過や、今回の企画の目的について説明されました。

ご参加の先生方は、出身学部や卒業年度の違いを超えて交流を深め、次年度もまたこのような取り組みの際には参加をし、ネットワークを広げることを確認しました。初志貫徹と言いますが、若手の先生方の中には、現役学生へのアドバイスをすることと通して、数年前に自分が必死に採用試験に立ち向かっていった時のことを思い出し、初心に戻ることが出来たという感想を述べられた先生もいました。また、びわこくさつキャンパスの学部ご出身の若手の先生からは、在学中は、キャンパスごとの教職支援センターで別々に活動していることもあって、出身キャンパスを超えて、若手教員のネットワークを広げられたら、とのお話も出されました。次年度以降の若手の会のあり方についての新しい提言と受け止めて、学校教育研究会運営委員会等でも検討を進めていきたいと考えています。

交流会の後半には、勉強会を終えた現役学生が合流し、さらに熱心に若手教員の皆さんに質問をする姿、アドバイスへのお礼を述べる姿などが見受けられ、終了予定時間を大幅に延長して閉会となりました。

今年度の秋季大会は11月30日(日)に開催の予定です。詳細が決まりましたところでご案内申し上げますが、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。なお、秋季大会は、昨年度と同様に、現役学生の教員採用試験合格者激励会(立命館学校教育研究会との共催)と同日に開催する予定です。分科会や懇親会には、採用試験を突破した学生も参加する予定ですので、多くの会員の先生方から、新人教員(の卵)たちへアドバイスなどいただけましたら幸いです。